

花ごよみ

2023年 248号
11月17日

発行：公財)東京動物園協会 井の頭自然文化園

例年とは異なる暑さだった夏が終わり、気づけば朝晩冷えこむ季節になりました。植物も徐々に葉が色づき、実をつけ、そして晩秋の花を咲かせ始めています。

1

レンガ色の紅葉が圧巻！



ラクウショウ
メタセコイア
ポンドサイプレス

井の頭池の景観を構成する要素のひとつが、水生物園の高木群です。「生きた化石」とも呼ばれるメタセコイアをはじめ、ラクウショウやポンドサイプレスなどが立ち並びます。紅葉する針葉樹というのも珍しく、30mを超える高木がレンガ色に色づく様子は圧巻です。

2

雌の木に赤い実



モチノキ(実)

樹皮から粘着性のある「とりもち」が採れることからモチノキと呼ばれるようになったのだとか。木には雌雄があり、雌の木には赤い実ができます。

3

鈴なり「どんぐり」



シラカシ(実)

シヤブナ、クヌギ、クリなどのブナ科の実を総じて「どんぐり」と呼びます。その形は種によって様々、シラカシは、「帽子」に6～8本の輪が入るのが特徴です。

4



ヒイラギモチ

5



ツワブキ

6

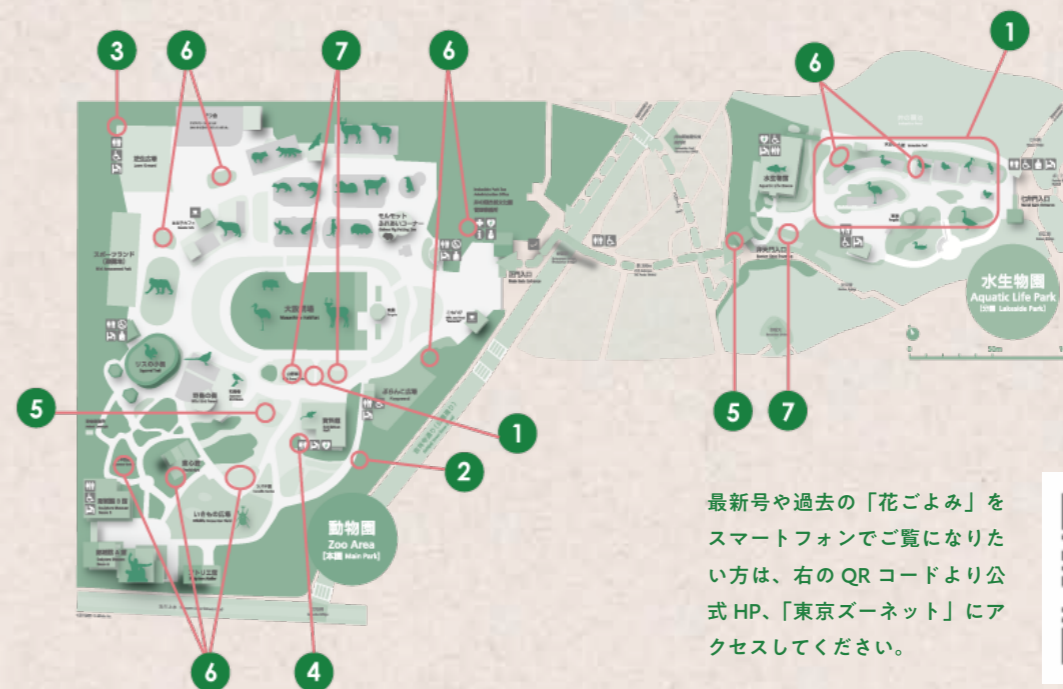


サザンカ

7



センリョウ



最新号や過去の「花ごよみ」をスマートフォンでご覧になりたい方は、右のQRコードより公式HP、「東京ズーネット」にアクセスしてください。

